



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 AOI TYO Holdings株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3975 URL http://aoityo.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 中江 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 譲原 理 (TEL) 03-5495-7575
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	14,193	8.8	923	693.2	923	—	403	—
2020年12月期第1四半期	13,049	△15.7	116	△81.6	5	△99.1	△32	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 593百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △226百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	17.17	17.13
2020年12月期第1四半期	△1.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	51,300	20,513	39.4
2020年12月期	48,682	20,231	40.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 20,217百万円 2020年12月期 19,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	12.00	12.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	10.6	1,600	—	1,500	—	700	—	29.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	24,566,447株	2020年12月期	24,566,447株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	1,086,556株	2020年12月期	1,088,298株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	23,479,650株	2020年12月期1Q	23,456,609株

(注) 自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ(信託E口)が所有している411,200株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、国内景気は引き続き厳しい状態にありながらも、基調としては持ち直しとなっています。輸出の増加及び円安進行により製造業の景況感は上向いている一方、宿泊・飲食、個人向けサービス等の個人消費関連の業種では本年1月の緊急事態宣言再発令により景況感が再び悪化し、二極化の様相を呈しています。

こうした中、当社グループでは、撮影・編集等の業務は昨年よりすでに新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてきていることから、当第1四半期会計期間においては昨年4月・5月のように延期・中止となる案件はほとんど発生しておらず、2020年12月期第4四半期連結会計期間からの業績回復傾向が継続しています。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高14,193百万円（前年同四半期比8.8%増）、営業利益923百万円（前年同四半期比693.2%増）、経常利益923百万円（前年同四半期比17,216.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益403百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円）と、なりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額52百万円が含まれております。

当社グループは、「広告事業」の単一セグメントでありましたが、中期経営計画に基づき本年1月に連結子会社10社を削減する大規模な組織再編を実施し、報告セグメントを、広告会社からの受託を中心に従来からの広告映像制作を担う「コンテンツプロデュース事業」と、広告主からの直接取引を中心にコミュニケーションの設計から実行までを担う「コミュニケーションデザイン事業」の2区分に変更しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①コンテンツプロデュース事業

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高10,235百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益1,360百万円（前年同四半期比95.0%増）となりました。

国内広告市場の緩やかな回復に伴い、大手広告会社からの案件受注が回復傾向を見せていること、前年同四半期は新型コロナウイルスの影響による案件の延期・中止があったこと等から、売上高は前年同四半期比増加しました。セグメント利益についても、売上高の増加に加え、仕掛品に計上される労務費・経費の期末残高が期首に比べて増加したことによる売上原価の減少、前年度から前倒しで実施している中期経営計画のコスト削減施策推進に伴う各種費用の減少等により、前年同四半期比増加しました。

②コミュニケーションデザイン事業

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,958百万円（前年同四半期比21.9%増）、セグメント利益236百万円（前年同四半期比199.6%増）となりました。

広告・マーケティングソリューション領域において、映像からデジタルソリューション、PR、イベント、空間デザイン等、全方位型のエキュゼキューションを提供するために、本年1月に5社を統合し設立した株式会社xpdにおいて、広告主からの直接取引やメディアの売上が増加したこと等から、前年同四半期比増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2,617百万円増加し、51,300百万円となりました。主な要因は、電子記録債権310百万円が減少しましたが、現金及び預金が2,697百万円、受取手形及び売掛金が251百万円、有形固定資産が274百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて2,336百万円増加し、30,787百万円となりました。主な要因は、長期借入金が890百万円減少しましたが、短期借入金が3,000百万円、前受金が407百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて281百万円増加し、20,513百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、配当金の支払いにより286百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により403百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の連結業績予想については、2021年5月14日付「2021年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、2021年12月期第2四半期連結業績予想につきましては、足元で再び緊急事態宣言が発出され、さらに延長されるという状況にあり、新型コロナウイルス感染拡大による案件の延期・中止の可能性もあり、現時点では合理的に算出することが困難なため、引き続き「未定」としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,813,819	13,510,900
受取手形及び売掛金	13,222,465	13,473,508
電子記録債権	3,562,775	3,252,466
商品及び製品	8,267	8,219
仕掛品	4,331,475	4,451,437
その他	1,108,034	1,112,492
貸倒引当金	△31,847	△25,628
流動資産合計	33,014,989	35,783,397
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,593,652	3,593,652
その他	2,663,808	2,938,398
有形固定資産合計	6,257,460	6,532,050
無形固定資産		
ソフトウェア	210,209	213,114
のれん	3,375,272	3,322,534
その他	15,994	15,994
無形固定資産合計	3,601,476	3,551,643
投資その他の資産		
投資有価証券	1,081,036	1,201,467
繰延税金資産	1,533,026	1,200,744
敷金及び保証金	1,661,033	1,536,458
その他	2,303,819	2,263,116
貸倒引当金	△770,326	△768,615
投資その他の資産合計	5,808,588	5,433,172
固定資産合計	15,667,526	15,516,866
資産合計	48,682,515	51,300,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,144,690	6,870,957
短期借入金	—	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	4,374,787	4,170,417
前受金	720,753	1,127,953
未払法人税等	172,515	269,354
賞与引当金	218,448	144,773
その他	2,112,543	2,374,234
流動負債合計	14,743,739	17,957,690
固定負債		
長期借入金	8,774,895	7,884,200
長期預り金	3,501,199	3,501,199
役員退職慰労引当金	259,435	259,899
役員株式給付引当金	247,750	265,768
退職給付に係る負債	343,303	355,917
資産除去債務	442,737	463,433
その他	138,037	99,005
固定負債合計	13,707,359	12,829,424
負債合計	28,451,099	30,787,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	12,111,198	12,110,691
利益剰余金	4,217,210	4,333,656
自己株式	△1,233,609	△1,231,386
株主資本合計	20,094,798	20,212,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△109,116	35,575
為替換算調整勘定	△59,597	△31,460
退職給付に係る調整累計額	△231	66
その他の包括利益累計額合計	△168,945	4,181
新株予約権	42,855	15,850
非支配株主持分	262,707	280,154
純資産合計	20,231,415	20,513,148
負債純資産合計	48,682,515	51,300,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	13,049,745	14,193,929
売上原価	10,916,463	11,424,496
売上総利益	2,133,282	2,769,432
販売費及び一般管理費	2,016,880	1,846,186
営業利益	116,402	923,246
営業外収益		
受取利息	1,419	2,396
受取配当金	2,886	2,581
保険返戻金	1,710	55,642
その他	45,435	26,669
営業外収益合計	51,453	87,289
営業外費用		
支払利息	18,568	20,912
支払手数料	40,369	38,551
持分法による投資損失	42,108	3,478
その他	61,474	23,859
営業外費用合計	162,521	86,801
経常利益	5,334	923,735
特別利益		
固定資産売却益	6,038	—
新株予約権戻入益	576	25,670
特別利益合計	6,614	25,670
特別損失		
持分変動損失	4,452	—
その他	45	—
特別損失合計	4,497	—
税金等調整前四半期純利益	7,451	949,406
法人税、住民税及び事業税	167,264	257,867
法人税等調整額	△132,635	276,883
法人税等合計	34,629	534,751
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,178	414,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,774	11,535
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,953	403,118

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,178	414,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150,995	144,691
為替換算調整勘定	△37,864	34,500
退職給付に係る調整額	320	298
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,821	△454
その他の包括利益合計	△199,360	179,036
四半期包括利益	△226,539	593,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△225,369	576,245
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,169	17,445

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンテンツプロデ ュース	コミュニケーショ ンデザイン	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,801,430	3,248,315	13,049,745	—	13,049,745
セグメント間の内部 売上高又は振替高	253,146	72,860	326,006	△326,006	—
計	10,054,576	3,321,175	13,375,752	△326,006	13,049,745
セグメント利益	697,710	78,953	776,664	△660,261	116,402

(注) 1. セグメント利益の調整額△660,261千円には、セグメント間取引消去26,726千円及び全社費用△686,988千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンテンツプロデ ュース	コミュニケーショ ンデザイン	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,235,759	3,958,170	14,193,929	—	14,193,929
セグメント間の内部 売上高又は振替高	359,291	39,438	398,729	△398,729	—
計	10,595,050	3,997,608	14,592,659	△398,729	14,193,929
セグメント利益	1,360,272	236,538	1,596,811	△673,564	923,246

(注) 1. セグメント利益の調整額△673,564千円には、セグメント間取引消去△967千円及び全社費用△672,597千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループは、2021年1月4日付で当社の連結子会社である株式会社ティー・ワイ・オーの事業の一部を会社分割するとともに、同社及び株式会社デジタル・ガーデンを存続会社とする連結子会社間の吸収合併及び商号変更を行い、大幅な組織再編を実施いたしました。この組織再編に伴い、従来の「広告事業」の単一セグメントから、報告セグメントを広告会社からの受託を中心に従来からの広告映像制作を担う「コンテンツプロデュース事業」、広告主からの直接取引を中心にコミュニケーションの設計から実行までを担う「コミュニケーションデザイン事業」の2区分に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社に対する公開買付け

当社は、2021年5月14日開催の取締役会において、以下のとおり、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注）の一環として行われるスタジオ・クルーズ株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）及び新株予約権（「第2回新株予約権」、「第7回新株予約権」、「第8回新株予約権」を総称して、以下「本新株予約権」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨すること、一方、本新株予約権の所有者の皆様に対しては、本新株予約権に関して本公開買付けに応募するか否かについては、本新株予約権の所有者の皆様のご判断に委ねることを決議いたしました。

なお、当該取締役会決議は、本公開買付け及びその後の一連の手続を経て当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものであります。

（注）「マネジメント・バイアウト（MBO）」とは、公開買付者が対象者の役員である公開買付け（公開買付者が対象者の役員の依頼に基づき公開買付けを行う者であって対象者の役員と利益を共通にする者である公開買付けを含みます。）をいいます。

1. 公開買付者の概要

(1) 名称	スタジオ・クルーズ株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 山田 和広
(4) 事業内容	当社株式を取得・所有することにより、当社の事業活動を支配・管理する業務
(5) 資本金	25,000円（2021年5月14日現在）
(6) 設立年月日	2021年4月16日
(7) 大株主及び持株比率	Studio Cruise, L.P. 100.00%
(8) 当社と公開買付者の関係	
資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

2. 買付け等の価格

普通株式1株につき、900円

第2回新株予約権1個につき、1円

第7回新株予約権1個につき、1円

第8回新株予約権1個につき、1円

3. 買付け等の期間

2021年5月17日（月曜日）から2021年7月5日（月曜日）まで（36営業日）

4. 買付け予定の株券等の数

買付予定数 23,767,317株

買付予定数の下限 15,844,900株

買付予定数の上限 一株

（注）本公開買付けにおいては、公開買付者は、当社株式を非公開化することを目的としているため、15,844,900株（所有割合65.50%）を買付予定数の下限と設定しており、本公開買付けに応募された株券等の総数が買付予定数の下限に満たない場合は、応募株券等の全ての買付け等を行わないこととしております。

5. 決済の開始日

2021年7月12日（月曜日）予定